

①要約：

この発明は、Meta が開発した XR 技術を利用して、人々が遠く離れた場所にいる相手にメッセージや情報を送ることができるシステムを提案しています。具体的には、図面やイラストが描かれた板を使い、メッセージを表示することができます。このシステムを使用することで、離れた場所にいる相手との結びつきを感じることができ、コミュニケーションの幅が広がります。

②目的：

この発明の目的は、人々が離れている場所でもコミュニケーションを楽しむことができるようにすることです。XR 技術を活用し、メッセージを視覚的に表示することで、実際に一緒にいるかのような喜びや結びつきを感じることができます。さらに、人々に情報やリマインダーを提供することで、便利さや効率性も追求しています。

③新規性：

この発明の新規性は、XR 技術を活用したメッセージ送信システムの提案にあります。従来の方法では、メモを貼ったりスマホでメッセージを送ったりすることが一般的でしたが、本発明では実際の環境にメッセージを表示することで、コミュニケーションの感覚を高めています。また、位置情報や画像認識技術を組み合わせることで、タイミングや場所に応じたメッセージ表示も可能となっています。

④独自性：

この発明の独自性は、Meta が開発した XR 技術を活用している点にあります。Meta は XR 製品の開発と普及に力を入れており、その技術を活かして新たなコミュニケーション方法を提案しています。特に、実際の環境にメッセージを表示することで、従来のメッセージ送信方法とは一線を画す独自性があります。

⑤経済価値：

この発明の経済価値は、XR 技術を活用した新たなコミュニケーション手段を提供することにあります。これにより、個人間や企業間のコミュニケーションの向上が期待されます。例えば、遠く離れた家族や友人とのコミュニケーションをより身近なものにすることで、絆を深めたり、ビジネスシーンにおいてもリアルタイムの情報伝達やリモートワークのサポートに役立つと考えられます。